

課題 1

システムコール `shmget` とシステムコマンド `ipic` について調査

`shmget` は共有メモリ・セグメントを割り当てる
共有メモリを作成する。

`Ipic` は共有メモリの設定を確認できる

課題 2 `shm1` と `shm2` プログラムの確認

`shm2` をはじめに実行するしたあとは `step1` であり、それを一度停止し `shm1` を実行すると `step2` になる。最後に再度 `shm2` を実行するとプログラムを何も変更していないが `step2` が表示される。このことからメモリが共有されていることがわかる。

課題 3 `mkfifo` について

FIFO (名前付きパイプ) を作る

`mkfifo` は指定されたファイル名で、FIFO (「名前付きパイプ」とも呼ばれる) を作成する。

課題 4 `semop`

セマフォの操作をする

`semop ()` は `semid` で指定されたセマフォ集合の選択されたセマフォに対して操作を行う

セマフォとは、コンピュータで並列処理を行う際、同時に実行されているプログラム間で資源（リソース）の排他制御や同期を行う仕組みの一つ。当該資源のうち現在利用可能な数を表す値のこと。